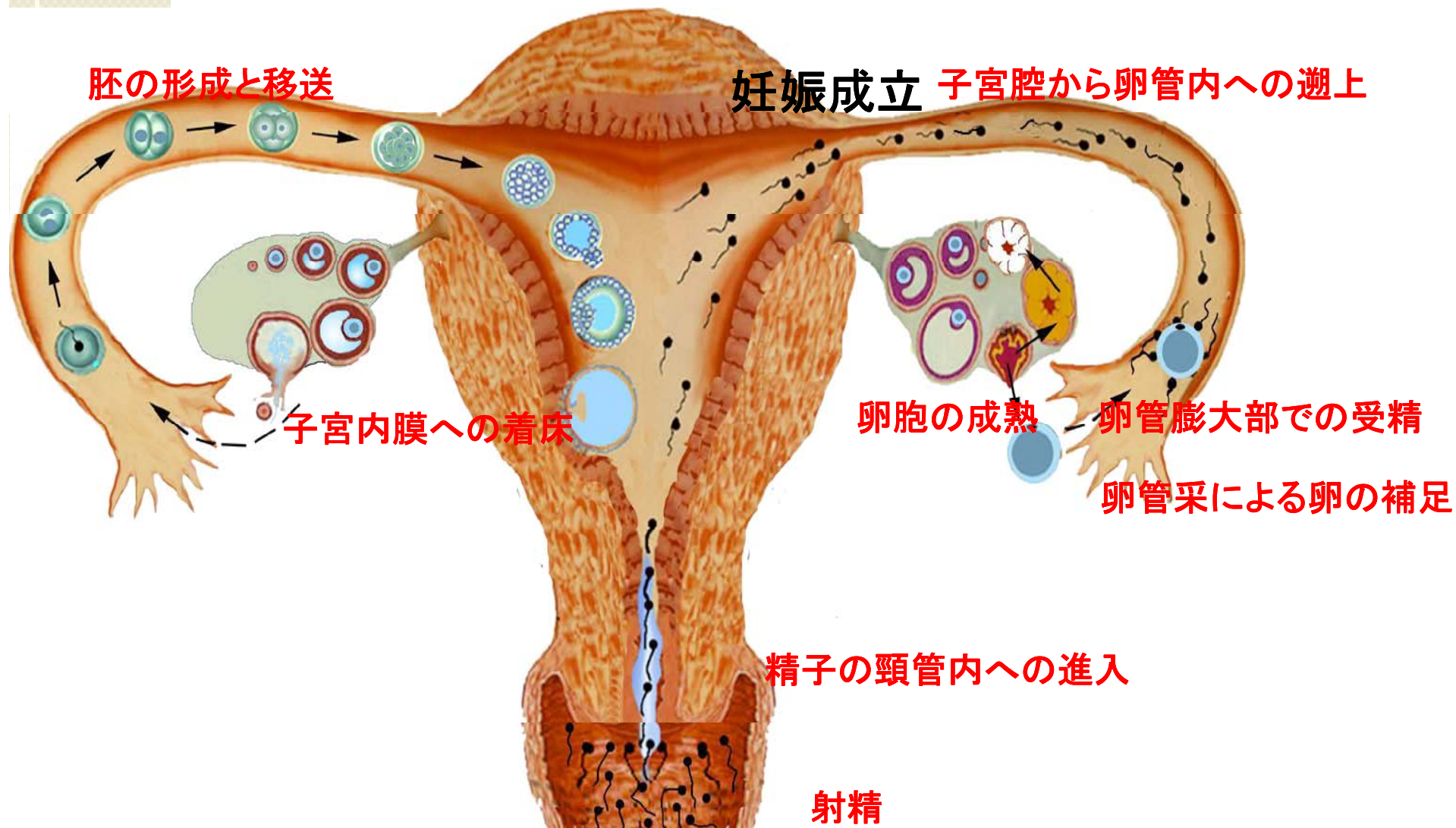


不妊症

定期的に夫婦生活があり、避妊をしていないのに2年たっても妊娠しない場合を不妊症としている。

10組に1組の夫婦が不妊症といわれている。

自然な妊娠成立機序



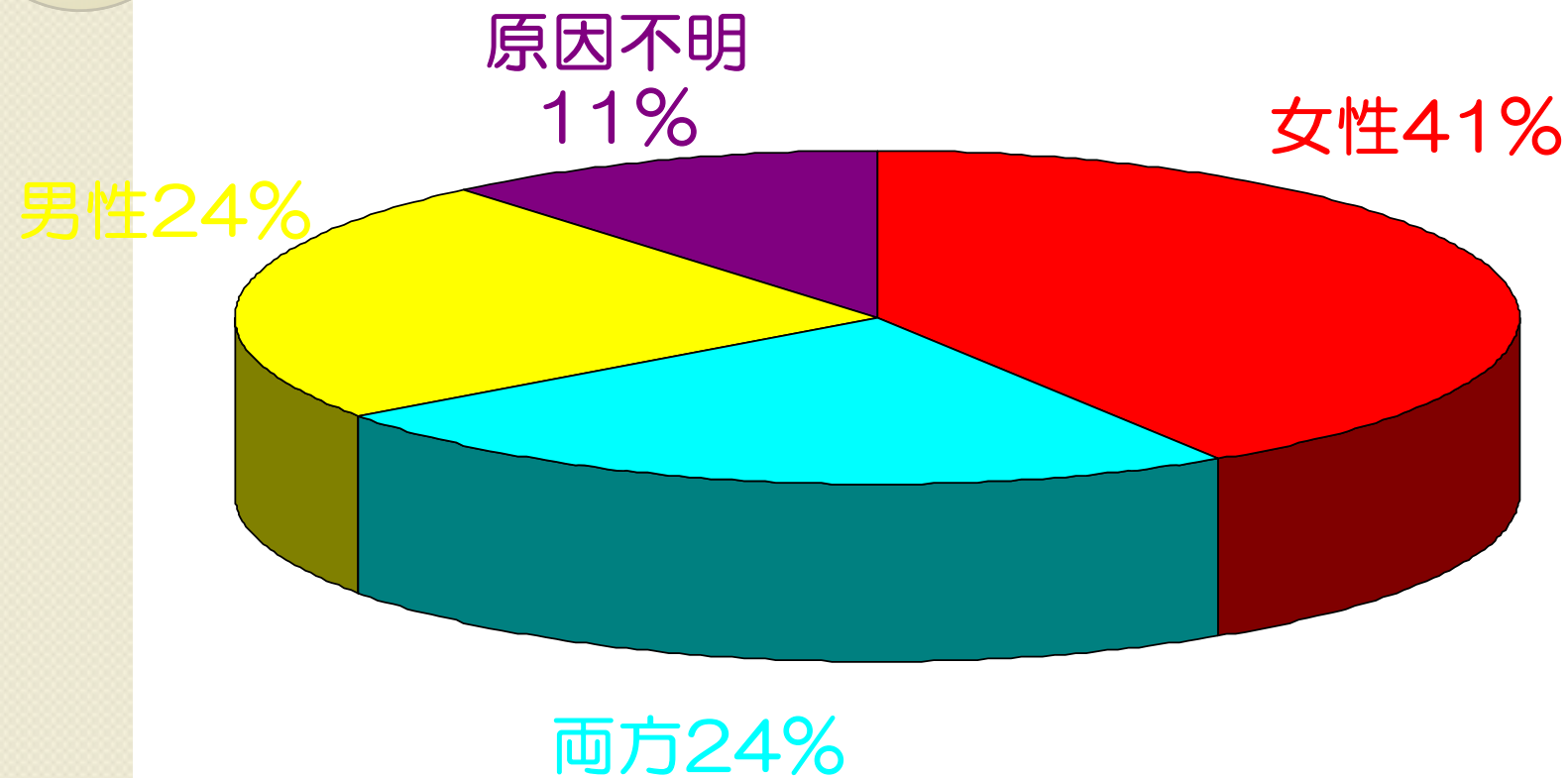
妊娠の成立



受精後7～8週の胎児

超音波診断写真

不妊症の原因



WHO調査 7273カップル 1996

不妊症の原因疾患

男性因子 造精機能障害、精路障害、
射精障害など

卵管因子 卵管閉塞・狭窄、卵管周囲癒着など

排卵因子 ダイエット、高プロラクチン血症、
多嚢胞性卵巣症候群など

子宮因子 子宮奇形、子宮筋腫など

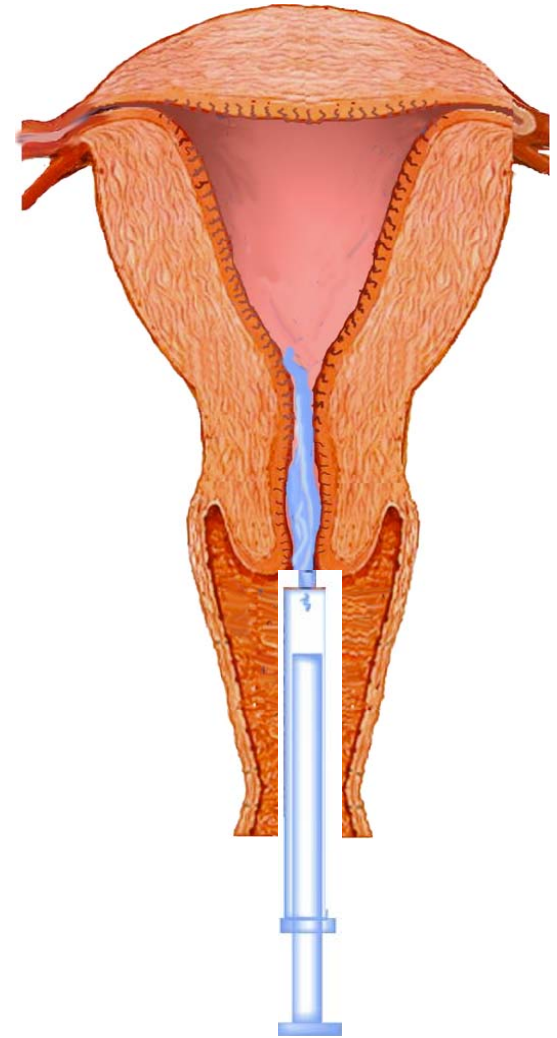
その他 頚管因子、受精障害など

不妊症の6大基本検査

- 1.基礎体温
- 2.精液検査
- 3.頸管粘液検査
- 4.フーナーテスト
- 5.子宮卵管造影
- 6.経腔超音波検査

3) 排卵日頃に行う頸管粘液検査

頸管粘液は排卵数日前から徐々に増量し、排卵日頃に0.3~0.4mlに達し**水様透明**となります。

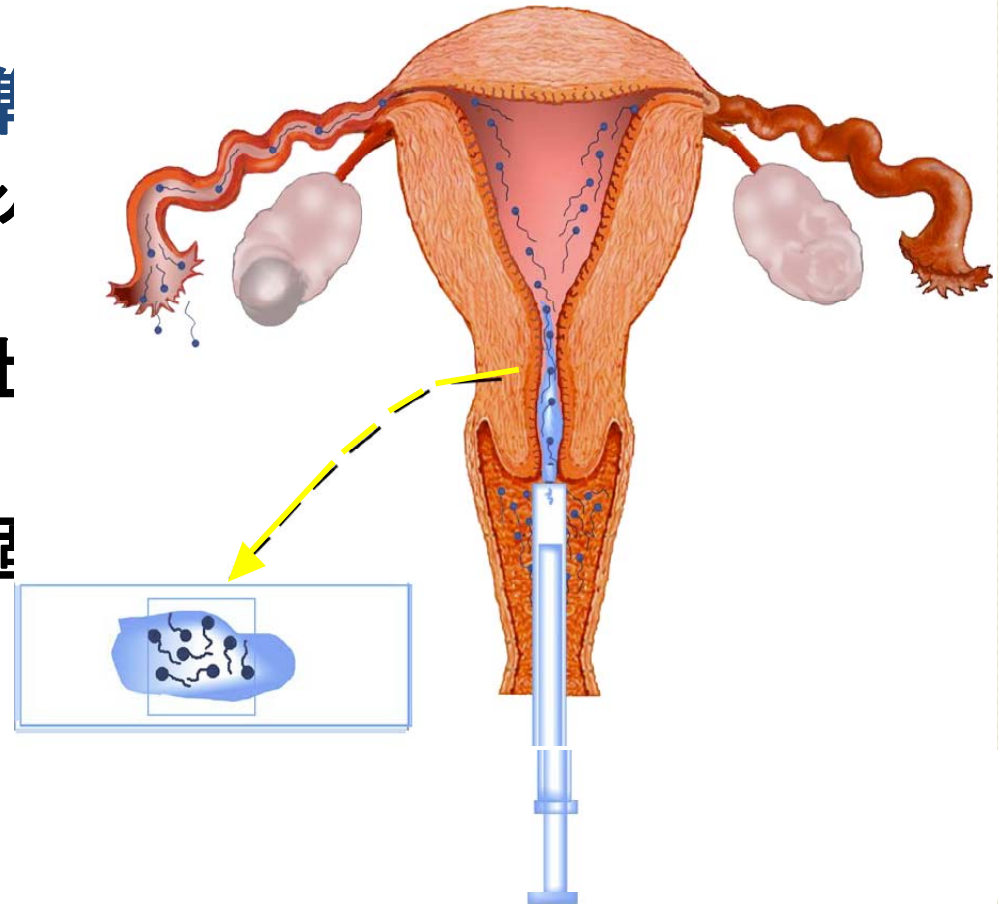


4) フーナーテスト

排卵日頃の早朝に性交し、頸管粘液中の精子数を調べます。運動精子が多数見られる場合には妊娠の可能性が高まります。

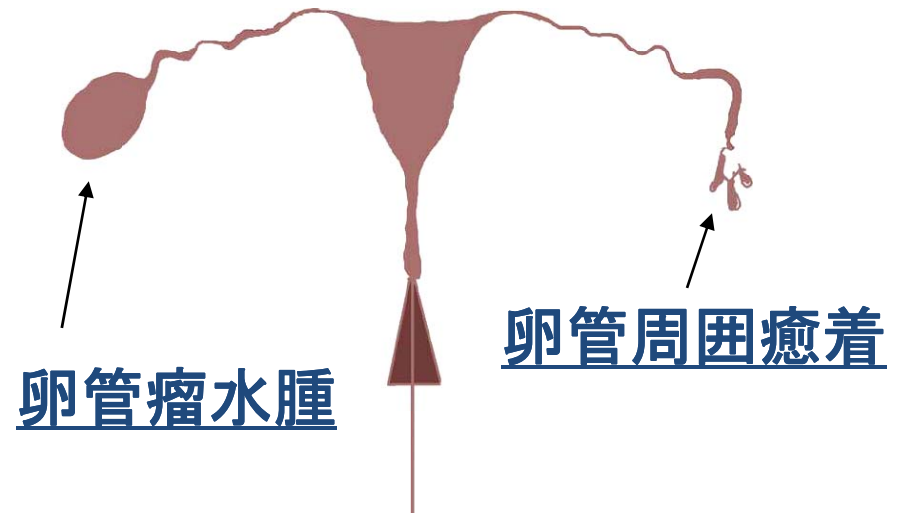
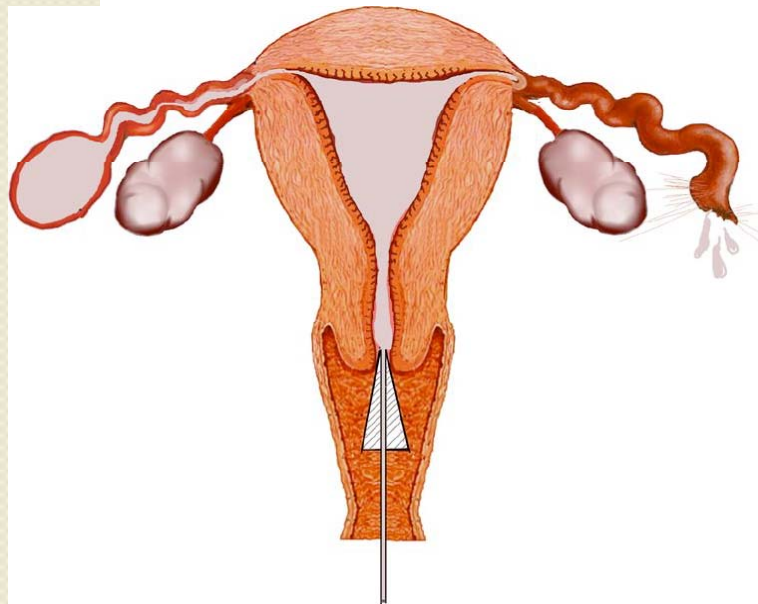
フーナーテストの判定基準
(運動精子数/400倍視野当り)

優	15個 以上
良	10～14個
可	5～ 9個
不良	4個 以下



5) 子宮の形と卵管の通過性を調べる子宮卵管造影

月経直後に行うレントゲンの検査である子宮卵管造影は子宮頸管の入口から造影剤を注入し、子宮腔や卵管の形を見るものです。



6) 卵胞の発育、子宮や卵巣の状態などをモニターに映し出す経腔超音波診断

